

## 2010 - ダムなんでも相談室 が開催された

2010/08/16

今年で5回目となる「ダムなんでも相談室」が北の丸公園の科学技術館で開催された。

ブースのテーマは「進行する温暖化とその対策」とし、地球温暖化防止対策として有効な再生可能なクリーンエネルギーである「水力発電」の重要性をアピールした。

今年も「ダム工学会」と「CMED 会」の共催として、7月30日から8月1日の3日間で1,200人を超える来場者を迎えた。

ブース運営のコンセプトは、「本物・手造り・参加型」とし、企画から運営までを本物の技術者が行い、手造り水力発電模型を来場者が操作できるように工夫した。水車が回り、LED ランプが点灯すると「ワー 一点いた！」と歓声があがる。またアーチアクション模型も来場者が実演できるよう工夫した。お母さんからも「解りやすい！」と高評を博した。

来場者には全員ダムクイズに挑戦し、正解することにより、「東京都で使用する水の70%が他県のダムに頼っていること」、「水力発電が最もクリーンなエネルギー（電気1kw 当りのCO<sub>2</sub>の発生量が最も少ない発電方法）である」ことを説明し、理解して頂いた。

来場者にはダムグッズとして、ダム卓上カレンダー・ダム下敷き・クリアファイル・温暖化防止アピール文・アーチアクション模型作成説明文・ビー玉（アーチアクション実験材料）を袋に入れて配布した。

当日、ブースでは「ダム博士」に扮したCMED 会・建設コンサルタンツ協会・ダム技術センターの各メンバーが3日間で延べ24名参加した。参加者からは、「大変だったが、是非来年も参加したい」、「全力投球で、ストレス解消になった」などの感想が寄せられた。



水力発電模型の説明に聞き入る来場者



クイズに挑戦し説明を受ける来場者

(CMED 会「ダムなんでも相談室」担当)